

宮城県デジタル技術普及啓発推進事業

業務委託仕様書

令和4年4月

宮城県

宮城県デジタル技術普及啓発推進事業業務委託仕様書

1 業務名

宮城県デジタル技術普及啓発推進事業業務（以下、「本業務」という。）

2 目的

我々が直面している人口減少社会においては、若者や子育て世代の流出や、担い手不足による産業・地域活力の低下等が課題となっており、さらに近年では新型コロナウイルス感染症の拡大による社会経済活動の変化が大きな問題となっている。

このような中、政府の「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」において、デジタル社会の目指すビジョンが示され、行政のみならず、国民による社会経済活動全般のデジタルトランスフォーメーション（以下、「DX」という。）化を推進することは社会課題の解決や経済成長にも資するとされている。本県でも令和3年4月に「みやぎ情報化推進ポリシー」を策定し、地域課題の解決に資するデジタル技術の活用を目指すこととしている。

そこで、本業務では令和5年度の県政施策展開の参考にするため、本県の地域課題の解決に寄与するような様々なDXアイデアを県民から幅広く募集する「宮城県DXアイデアボックスサイト」と、県民がDXアイデアを想起しやすいように最新の「デジタルソリューションのカタログサイト」をクラウド上に設け、県民にデジタル技術の有効性への気づきの機会を提供すると共に、本県におけるデジタル社会の実現に向けた機運醸成・普及啓発を図るものである。

3 用語の定義

- (1) 発注者 … 宮城県。
- (2) 受注者 … 本業務の受注者。

4 業務の概要

(1) 全体統括業務

受注者は、全体を統括する管理責任者を最低1名指定し、本事業が円滑に推進されるように発注者と相談の上、委託業務を遂行すること。

受注者は(2)と(3)の業務を組み合わせ、本県政策課題に沿った形でのDXアイデアを県民から幅広く募集・集計し、政策提案をするコンサル業務を実施する。

(2) 宮城県DXアイデアボックスサイトの構築・運營業務

受注者は、契約期間中、県政施策展開に係るDXアイデアを県民から幅広く収集・共有・分析ができる「宮城県DXアイデアボックスサイト」をクラウド上に構築し、その保守・運用も含めた一連のサービスを、発注者及び県民に提供するものとする。

(3) デジタルソリューションカタログサイトの構築・運營業務

受注者は、契約期間中、県民が DX アイデアを想起しやすいように、最新の「デジタルソリューションのカタログサイト」をクラウド上に構築し、その保守・運用を含めた一連のサービスを、発注者及び県民に提供するものとする。

(4) 県への政策提言業務

受注者は、(1) から (3) の業務を踏まえて、県政 DX 推進施策展開に向けた発注者への政策提言書を報告する。

5 委託期間 契約締結日から令和5年3月17日まで

6 履行場所 発注者が指定する場所

7 委託上限額 14,845,000 円 (税込み)

8 成果物

下記の成果物について、納入期限までに発注者に提出すること。また、検査に合格した場合は、遅滞なく、紙による成果物1部及び電子媒体 (CD-ROM 等) による成果物1部を納入すること。電子媒体の形式は、Microsoft Office2016 以降の ver. で表示、編集及び印刷できる形式とすること。なお、成果物の内容等については、発注者と事前に協議を行うこと。

【成果物一覧】

成果物	納入期限
令和4年度 業務実績報告書	令和5年3月10日 (金)

9 業務要件等

(1) 全体統括業務

イ 受注者は、全体を統括する管理責任者を最低1名指定し、本事業が円滑に推進されるように委託業務を遂行すること。

ロ 受注者は、契約締結後7営業日以内に本業務の全体体制、業務内容、成果物、業務管理方法、スケジュール等を定めた業務計画書、体制及び役割を定めた業務体制図を発注者に提出し承認を受けること。

なお、業務計画書には管理責任者、住所、連絡先等を記載した書面を添付すること。

ハ 発注者は、提出を受けた業務計画書及び業務体制図について、内容を審査し、不備のある場合は提出後、3営業日以内に再提出を求められることができる。その場合、受注者は再提出を求めてから3営業日以内に再提出を行うこと。

ニ 受注者は、承認を受けた業務計画書及び業務体制図に基づき本業務を実施し管理すること。また、業務開始後は別に定める月例報告等を行うこと。

(2) 宮城県 DX アイデアボックスサイトの構築・運營業務

イ 受注者は、以下の要件を備えたサイトをクラウド上に構築すること。

(イ) 県政施策展開に係る DX アイデアを県民等から幅広く収集・共有・分析できること。

(ロ) 利用者が必要とする情報に簡単にたどりつける UI/UX であること。

(ハ) 住民が簡単に投稿できること。

(ニ) コンテンツの改ざん等のセキュリティリスクに対応できる安全性があること。

(ホ) 不適切な投稿への対策を十分に行っていること。

(ヘ) スライドデザイン等での表現など、参加者が政策テーマをわかりやすく理解できる仕組みがあること。

(ト) 発注者が負担なく利用できる仕組みにしていること

ロ 県政施策との関連性について

本サイトで募集する DX アイデアは、発注者より指定された本県の政策課題とリンクする形で DX アイデアを募集することとする。内容については本業務を受注後に発注者と相談の上決定する。

なお、県政施策については、「新・宮城の将来ビジョン (2020 年 12 月策定)」を元に数項目に分けて DX アイデアを募集するものとする。

ハ 受注者は、本業務を実施するにあたり以下の事項を遵守すること。

(イ) 提供サービスの体制

本サイトの運用開始後契約終了まで、保守を 24 時間体制で実施すること。また、運用開始前に、運用・保守体制などを記した提供サービス仕様書を提出し、発注者の承諾を得ること。

(ロ) 問い合わせ対応

本サイトの運用・保守にかかるヘルプデスクサービスを以下のとおり提供すること。ヘルプデスクの利用者は住民及び県の職員を想定している。

①電話 (平日 9:00~17:00 受付) 又は電子メール (24 時間受付) 等によるサポートを行うこと。

②問合せや依頼事項について、受付から対応結果まで記録し、「対応履歴管理表」として管理すること。

③電話受付時間外の緊急連絡体制を示すこと。

ニ 本サイトの安定稼働

(イ) 稼働監視業務

稼働に必要となるシステムリソースの全てについて常に監視を行い、障害発生や機能低下などをいち早く感知し、迅速に対応すること。

(ロ) 障害復旧業務

障害が発生した場合、直ちに復旧見込みを発注者に報告すること。その後、迅速に復旧作業を行い、障害原因、影響範囲、対応方針を発注者に報告すること。

(ハ) バックアップの取得

バックアップを取得し、障害発生時に確実かつ速やかにデータの復旧を行えるよう準備をすること。また、バックアップ取得時に、本サイトの機能に影響が出ないようにすること。

ホ サービス提供の状況報告

月次でサービス提供状況報告書を提供すること。報告書には以下の内容を含める。

(イ) 本サイトの利用状況

ヘ セキュリティ

(イ) 不正アクセス防止対策

SSL 等による暗号化技術を利用するなど、不正アクセスを防止するための対策を実施すること。

(ロ) 脆弱性対策

セキュリティホール棟の脆弱性が発見された場合は、発注者と協議の上、最新のセキュリティパッチを適用すること。

ト 記載外事項

本仕様書に定めのない事項又は本仕様書について疑義の生じた事項については、発注者と協議して定めるものとする。

(3) デジタルソリューションのカタログサイトの構築・運營業務

イ 受注者は、以下の要件を備えたサイトを構築すること。

(イ) 県民が自らの生活や業務において DX の利活用事例を想起させ、アイデアボックスへの投稿へ促すためのデジタルソリューションカタログや DX 事例を収集し掲載してあること。

(ロ) デジタルソリューションカタログで紹介される ICT 技術のキーワードは以下のとおりである。DX, AI, 5G, IoT, ビックデータ, VR, ロボット, クラウド, ドローン, Fintech 等。受注者は、これらのキーワードいずれかが含まれるソリューションカタログを構築するものとする。

(ハ) 想定される地域課題

本業務で DX アイデアを想起される分野は、9 (2) のロに記載のとおり、本県の政策課題とリンクすることとしているが、例えば紹介される地域課題の分野としては、地域、観光、医療、介護、物流、働き方、農業、建築、土木、製造、都市など様々なものが想定される。紹介する事例については、事業者からの提案を受け、発注者と相談の上決定するものとする。

ロ 本サイトの実施要件等

本サイトにおいても9(2)のロからへまで記載の事項について、同様に順守するものとする。

(4) 県への政策提言業務

イ 受注者は、年2回、発注者に対して、(1)から(3)の業務を踏まえて、県政DX推進施策展開に向けた発注者への政策提言書を報告すること。

ロ 受注者は、本県の地域課題の解決に寄与するような様々なDXアイデアが集まりやすいよう独自提案を行うこと。独自提案には、優秀なアイデアを提案した者に対する表彰やコンテストの実施、広報活動等が考えられる。

(5) スケジュール

本事業におけるスケジュールは下記の通りとすること。なお、発注者と事前に協議をすることで変更することができる。

	R4年度													R5
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~	
全体統括		業務計画提出	プロジェクト管理										業務実績報告書提出	
アイデアボックス		サイト構築	第1回アイデア募集	意見分析展開	第2回アイデア募集	意見分析展開	総括評価							
デジタルソリューションサイト		サイト構築・運用										総括評価		
県への政策提言						県への政策提言				県への政策提言			R5事業への展開	